Panasonic

取扱説明書
IH調理器（家庭用）

品番 **KZ−PG33**
KZ−PH33

KZ-PG33
（鍋付き）

KZ-PH33

取扱説明書のイラストはKZ-PG33を使っています。

このたびは、IH調理器をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（P.2～5）を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書付き

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください（P.22ご参照）

ZY02－E12
H0914M0

もくじ

確認とご注意

安全上のご注意 2
使用上のお願い 5
各部の名前 6
使える鍋は？ 8

使い方

加熱 10
鍋だし作り 11
味しみこみ 12
揚げ物 13
IH調理のポイント 14

長くご愛用いただくために

お手入れ 17
別売品 18
こんな表示が出たら… 18
故障かな？ 19
保証とアフターサービス 20
仕様 22

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

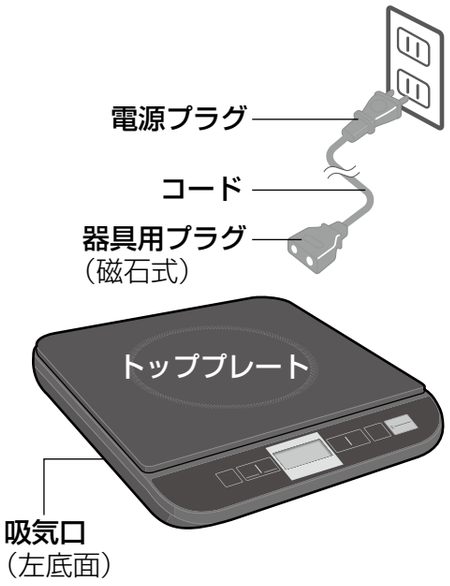
⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

火災、爆発、やけど、けが、感電などを防ぐために…

⚠警告

トッププレート（ガラス製）には

⃠
- ●鍋以外のものを載せない
  - ●カセットコンロ・ボンベ・缶詰・湯たんぽなど
    （誤って加熱すると爆発の原因）
  - ●レトルトパック、アルミ箔鍋・内側にアルミ箔を貼った紙パック、アルミ箔など
    （破裂によるけが、加熱による発火の原因）
  - ●金属製スプーン・鍋のふたなど
    （加熱によるやけどの原因）
  - ●市販の汚れ防止カバー（鍋の下に敷いてトッププレートの汚れを防ぐもの）など
    （温度調節機能が正しく働かず、油温が上がりすぎて、発火の原因）
- ●衝撃（物を落とすなど）を加えない
  （ひびが入ったり割れたりすると、感電や過熱・異常動作の原因）



揚げ物をするときは

⃠
- ●そばを離れない
- ●800g（0.9L）未満の油で調理しない

❗
- ●「揚げ物」コースで調理する
- ●必ず別売の天ぷら鍋を使う（P.18）

- ●鍋底が反ったり変形したりしていない鍋を使う
- ●鍋は中央に置く

（油温が上がりすぎて、発火の原因）

炒め物・焼き物をするときは

⃠
- ●そばを離れない
- ●予熱の火力は弱めにし、加熱しすぎない

（少量の油を使うため、油温が急激に上がり、発火の原因）

※鍋底が薄いもの・反っているものは赤熱することがあります。

液体を加熱するときは

❗
- ●加熱する前にかき混ぜる
  - ●だし汁・みそ汁・吸い物・カレーなどの汁物や煮物など

（水や調理物を加熱していると、突然噴き出したり鍋が飛び跳ねたりすることがあり、やけど・けが・トッププレート破損の原因）

プラグやコードの取り扱いに注意

（ショート・絶縁不良・劣化などによる発火・感電の原因）

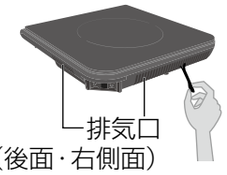
⃠
- ●傷んだプラグ・緩んだコンセントは使わない
- ●コード・プラグを傷めない
  傷付ける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど
- ●器具用プラグ先端にピンやごみを付着させない
- ●乳幼児に器具用プラグをなめさせない
- ●ぬれた手で、プラグの抜き差しはしない

❗
- ●定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使う
- ●電源プラグは根元まで確実に差し込む
- ●プラグのほこりなどは定期的に取る
  ➡プラグを抜き、乾いた布で拭く。

次の点もご注意ください

（火災・やけど・けが・感電の原因）

⃠
- ●取り扱いに不慣れな方だけで使わせたり、乳幼児に触れさせたりしない
- ●本体を水につけたり、水をかけたりしない
- ●吸・排気口や隙間にピンや針金など金属製のものを入れない



- ●分解・修理・改造をしない
  ➡修理は販売店にご相談ください。

異常・故障時には

❗ ■直ちに使用を中止し、電源プラグを抜く
（発煙・発火、感電のおそれ）

＜異常・故障例＞
- ●焦げ臭いにおいがする
- ●触れるとビリビリ電気を感じる
- ●プラグ・コードが異常に熱くなる
- ●コードを動かすと、通電したりしなかったりする
- ●トッププレートにひび割れができた

➡すぐに、販売店へ点検・修理を依頼してください。

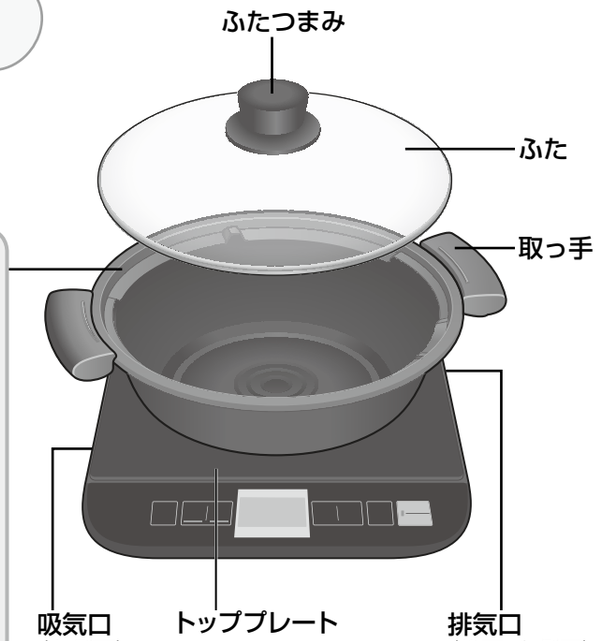
安全上のご注意 必ずお守りください（続き）

⚠注意

やけど、けが
発火、感電などを
防ぐために…

鍋を使うときは（KZ-PG33のみ）

- ●ふたを取るときは、蒸気に触れない
  （やけどの原因）
- ●鍋の取っ手・ふたつまみがぐらぐらするときは、締め直して使う
  （外れるとやけどの原因）



揚げ物をするときは
（発火・やけどに注意！）

- ●油煙が多く出たら、すぐに電源プラグを抜く
  （加熱を続けると、発火の原因）
- ●油の飛び散りに注意する
  （やけどの原因）
  ➡油の飛び散りを少なくするには（P.16）
- ●他の機器（ガスコンロなど）であらかじめ加熱した油を使わない
  （温度調節機能が正しく働かず、発火の原因）
- ●顔を近づけない
  （やけどの原因）

使用中・使用後しばらくは

- ●高温部に触れない
  ●鍋・トッププレートなど
  （やけどの原因）
  ➡プラグを抜き、各部が冷えてからお手入れする。

医療用ペースメーカーなどをお使いの方は

- ●念のため医師とよくご相談ください
  （本製品の動作が、ペースメーカーに影響を与える原因）

プラグやコードの取り扱いに注意
（ショート･漏電による発火、感電、やけどの原因）

- ●専用の電源コード以外を使ったり、電源コードを他の機器に転用したりしない
- ●抜くときは、コードを持たずに必ずプラグを持って引き抜く
- ●使用時以外はコンセントから抜く

次の点もご注意ください

- ●水のかかる所や火気の近くで使わない
  （感電・漏電の原因）
- ●鍋が滑り落ちるようなことはしない
  （けが・やけどや鍋が破損する原因）
  ●不安定な所で使わない
  ●鍋がずれた状態で使わない
  ●鍋を載せたまま本体を持ち運ばない
- ●鍋の下に何も敷かない
  ●ラップなどの樹脂類
  （敷物が溶けてトッププレートと鍋に焼き付いてくっつき、無理に剥がすとトッププレート破損の原因）
  ●紙・布巾などの可燃物
  （鍋の熱で敷物が焦げる原因）
- ●空焼きしたり、加熱しすぎたりしない
  （調理物が燃えたり、鍋が破損したりする原因）
- ●調理以外に使わない
  （過熱・異常動作による発火の原因）

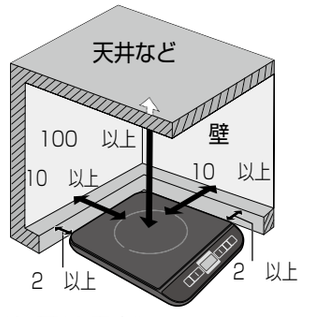
使用上のお願い

使用中はIH調理器から磁力線が出ます

- ●IHクッキングヒーターの上で使わない
  （IHクッキングヒーターが故障する原因）
- ●トッププレートの上で電磁誘導加熱の調理機器を使わない
  ●IHジャー炊飯器など
  （本製品が故障する原因）
- ●磁気に弱いものを近づけない
  ●ラジオ・テレビ・補聴器など
  （雑音が入ったり、音が小さくなったりする原因）
  ●ICカード・キャッシュカード類など
  （記録が消えたり、壊れたりする原因）

周囲の可燃物からの距離

- ●図の距離を離す
  （可燃物が木製の壁・家具などの場合）
  ●片側（左右どちらか）は開放する。
  ●熱に弱い物の上で使わない。
  じゅうたん
  ビニール製テーブルクロスなど
  （敷物が焦げたり、火災の原因）



〔消防法 基準適合〕

- ●吸気口・排気口を塞がない
  （本体内部の温度が上がる原因）

※テーブルなどの上に長期間置いたままにすると、表面に脚ゴムの跡が残ることがあります。